

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
19	石川 浩司（4）	<p>1. 地域コミュニティにおける交通手段の課題解決と今後の展望について</p> <p>現在、本市では地域コミュニティにおいて地域に密着したデマンドタクシーが10か所の地区で運行されています。利用地区は富士市の郊外が多く、高齢者を中心に暮らしの足として利用され、利用者も運行当初に比べ増え定着してきております。</p> <p>しかし、運行は地域内での移動に限られており、地域外の目的地に行くにはタクシーを含む公共交通での移動が余儀なくされている一方で、コロナ禍やガソリン価格高騰の影響もあり、タクシー業界全体も乗務員数と車両台数の激減がありました。それに伴い、松野地区では富士川を渡っての送迎を断られるといったケースが発生しており、気軽に利用できないという現実がございます。</p> <p>また、それに拍車をかける法令がスタートします。2024年問題の働き方改革関連法です。近い将来、バスやタクシーなどの公共交通にとっても大きな転換期となります。既に松野地区などでその影響が出ています。</p> <p>そこで今後の展望を含め、以下質問します。</p> <p>(1) 市として既に、暮らしの足としての交通手段に問題がある地域などを把握し、それに対する対応は考えているのか。</p> <p>(2) デマンドタクシーは、路線バスなどの公共交通機関の補助的役割と理解しているが、デマンドタクシーの今後の在り方や運行に変化はないのか。また、市として公共交通機関との連携は取れているのか。</p> <p>(3) 今後の展望として、市として進めているM a a Sを含め、公共交通空白地区におけるライドシェアやカーシェアリングなどをどのように検討しているのか、また、検討すべきではないのか。</p> <p>(4) ライドシェアやカーシェアリングなど、地域課題の解決には地域のやる気が一番大切であると認識しているが、既に一般社団法人として自立的な地区運営をしている松野・須津地区が導入を計画した場合、市としても協力し支援しなければならないと思うがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長